



はわいっこ

平成30年1月24日(水) 発行

運営委員会主催の第2回アロハ会議が開催されました

1月17日(水)5校時、第2回アロハ会議を全校児童で開催しました。今回も、計画・準備・運営がとても大変だったと思いますが、運営委員会のみんながよくがんばってくれました。今回の議題は「よびすて・いじめをなくすために」でした。「いじめが0ではなかったり、よびすてしたりあだ名で呼んだりして、友だちを大切にしない人もいます。友だちの名前を大切に呼んで、よびすてやあだ名をなくせば、いじめもなくなっていく。羽合小学校からいじめをなくしたい。」と提案理由が述べられました。そして、

- ◎よびすてをなくすためには、どうすればよいか。
- ◎いじめをなくすためには、どうすればよいか。

について、なかよし班ごとに協議が行われました。そして、各班ごとで決まったことを報告し、全校で取り組むことを決めていきました。決まったことは、

- ◎よびすてをした人を、クラスごとにチェックして、1週間の結果を月曜日に放送する。
- ◎いじめを見た人は先生に言い、クラス会議で話し合う。

となりました。大規模校である羽合小学校の全校児童で、このような活動ができることをとても誇りに感じています。子どもたちの自治力が益々育まれていくことを願っています。

子どものやる気を育てるために考えておきたいこと (PART2)

前号に引き続き、子どものやる気を育てるために考えておきたいこととして、『短い誉め言葉をかけ続けると生きる力が育つ』とある書物にありましたので、紹介します。

子育ての極意として、「まずは『楽しい!』という気持ちを子どもに持たせ、そして、『自信』を持たせる。この繰り返し」。要は、「言葉の魔力」で、「生きる力」を育てているのだと思っている。子育ては一筋縄ではいかないむずかしいものである。だが、自己肯定感が高い子どもを育てている様子を見ると、必ずしも子どもにずっと張り付いているわけではないのに、「自信」を持たせる瞬間を見逃していないことに気付く。叱るにしても誉めるにしても、その瞬間に、子ども自身の人格ではなく、起こった出来事を短い言葉で表現しているように感じる。この「短い言葉」というものが、功を奏すかもしれない。結局、子育ては、赤ちゃんの頃は「手をかけ」、幼少期には「目をかけ」、そして思春期に入ると「心かけ」ということに尽きるのだろう。この「心かけ」の時期に、わが子そのものを認める姿勢を持ち、それを言葉に出すことが、子育ての肝なのだと思う。(次号に「短い声かけフレーズ10」を載せる予定です。)

